

令和3年度 県立太田高校1年「総合的な探究の時間」

夏休み前集会「企業訪問編」校長挨拶

令和3年7月16日（金）

校長 丸橋 覚

1年生諸君、こんにちは。

入学して3ヶ月が過ぎた。コロナ禍の中、よくやっている。

1年生にも「太高プライド」が身につき始めているように思う。

今日は、2学期の「総合的な探究の時間」のメインとなる10月13日に実施の「企業訪問」についての話をします。私からは、なぜ、「企業訪問」なのかについて話します。

太田高校の第1の使命は、君たちに難関大学に合格できるだけの学力を付け、希望の大学に合格させることである。「夢は大きく！志は高く！」を目指して欲しい。

ただ、社会が大きく変化している。

大学入試制度も変わっている。

社会の要請で、頭でっかちだけの人材はいらない。

もっと、自分で課題を設定し、課題を解決できる人材が欲しい。

太高の授業も探究型に変わっている。ペアやグループでの対話の時間があり、発表の時間がある。プレゼン力やコミュニケーション力、課題解決力など、社会で求められている力も育てているのです。

太田高校でも、大学受験を突破できる力を付けつつ、あんな人になりたい、あんな先輩のようになりたい、あんな職業につきたいなど、「心に火をつける活動」である「総合的な探究の時間」を重視し、2つの車輪を回し始めています。

君たちが実質の1期生です。

（全国では、京都堀川高校、茨城並木中等教育学校、奈良西大和高校、山形東高校、大船渡高校等探究活動は積極的に取り組み、東京大学の総合型選抜などで入学者が出始めています。）

太高での探究活動は、太高生だから、中学校のときに経験した調べ学習ではダメです。

キーワードは「社会との接点」です。

太高生には、校外に出て、多くの社会人と対話することにより社会課題に触れてもらい、自分の将来の職業を展望して欲しいと思うのです。

私は、高校生の探究活動は、自分の原点（もっとと興味のあること）をとことん深掘りし、将来の職業に関連する企業を訪問して欲しいと思っています。

野球が好きな人はスポーツドクターとか、将来の職業に関連しそうであり、かつ、今、一番会って話をしてみたい人やその人のいる企業を訪問してください。

決められない人は、リストの中から選んでください。多くの地元の企業が協力してくれています。

とにかく、企業訪問を“前のめり”で取り組んでほしいと思っています。頑張ってください。